

## おしゃべりコーナー

### (目次)

- <一日行動> (竹の台・島田)
- <今月の歌>  
「我がよき友よ」 (美賀多台・つだわたる)
- <ショート・ショート>  
「船旅」 (春日台・大西 No.15)
- <西神の花>  
「かりんの実」 (竹の台・島田 No.3)
- <9条街角風景>  
「竹の台ふれあい祭り」 (竹の台・タイガー)

## <一の日行動>

西神ニュータウン 9 条の会では、毎月の月初め、西神中央駅前で「一の日行動」として、市民の皆さんに呼び掛けを行っています。

いつもは、メガホンによるスピーチとイベントのチラシ配り、署名活動が中心ですが、11月1日は、ギター伴奏が加わり、11月号のホームページの今月の歌で紹介した「イマジン」が演奏されました。

軍拡反対、憲法改悪阻止など、堅苦しいスピーチの中で、ギター演奏が場の雰囲気を和らげてくれました。

(竹の台・島田)

[目次へ](#)



## <今月の歌>

### 『我がよき友よ』

唄：かまやつひろし、作詞作曲：よしだたくろう

<https://youtu.be/kuWtPF7GvQA?si=aEbtegF1pdV8LjjH>

カラオケで歌わなければならぬ時は、この歌を歌っていました。生来の音痴で歌は全くダメなのですが、不思議なことにこの歌だけは高い得点が出ました。でも周りの人の意見では下手です。



1975年の歌ですから、まだ学生時代です。ほぼ男ばかりの学校で5年間過ごし、将来はこんな感じで飲みたいなと思ったものです。

お酒が、この歌の大事な要素です。「語りあかせば下宿屋のおばさん酒持つてやってくる」「時を憂いて飲み明かしたい」に惹かれますが、男の酒の実際は、若い時は駄法螺を吹いて働き盛りは愚痴こぼし、傷をなめ合うような感じです。今の話題は映画や野球、政治等の多方面ですが、一番盛り上るのは「あの時はどうだった」という思い出話です。

昔は飲酒が緩くて、私が外で飲んだのは15才だと思います。生まれ故郷の小さな村の春の祭りの後、それを財政的に支える厄年の男たち「連中」の帳破りに、元服と還暦の男が招待される習慣がありました。そこでビールも日本酒も飲みました。

学生時代は、校内にあった学生寮に行って、文化祭の打ち上げなどで、泊まり込みで飲んでいました。「悪酔いレッド」とか言って、安い酒ばかりです。

そして、50年ぶりにクラス会をして、薄くなった頭と深いしわの顔を寄せて楽しい酒を飲んでいます。

お酒には色々な思い出があります。

- ♪ 下駄を鳴らして 奴(ヤツ)が来る  
腰に手ぬぐい ぶら下げる  
学生服に しみ込んだ  
男の臭いが やってくる  
あゝ 夢よ 良き友よ  
おまえ今頃 どの空の下で  
俺とおんなじ あの星見つめて  
何思う
  
- ♪ 可愛いあの娘に 声かけられて  
頬を染めてた うぶな奴  
語り明かせば 下宿屋の  
おばさん酒持つて やってくる  
あゝ 恋よ 良き友よ  
俺は今でも この町に住んで  
女房子供に 手を焼きながらも  
生きている
  
- ♪ 男らしさと 人が言う  
お前の顔が 目に浮かぶ  
力づくりだと 言いながら  
女郎屋通いを 自慢する  
あゝ 夢よ 良き友よ  
時の流れを 恨むじゃないぞ  
男らしいは やさしい事だと  
言ってくれ

♪ 家庭教師の ガラじゃない  
金のためだと 言いながら  
子供相手に 人の道  
人生などを 説く男  
あゝ 夢よ 良き友よ  
便りしたため 探してみたけど  
暑中見舞いが 返ってきたのは  
秋だった

♪ 古き時代と 人が言う  
今も昔と 僕は言う  
バンカラなどと 口走る  
古き言葉と 悔やみつつ  
あゝ 友よ 良き酒を  
時を憂いて 飲み明かしたい  
今も昔も この酒つげば  
心地よし

♪ 学生たちが 通りゆく  
あいつ程では ないにしろ  
まじめなのさと 言いたげに  
肩で風切って 飛んでゆく  
あゝ 友よ 良き奴よ  
今の暮らしに 飽きたら二人で  
夢を抱えて 旅でもしないか  
あの頃へ

(美賀多台・つだわたる)  
[目次へ](#)

<ショート・ショート> ちょっとした気づきやつぶやき…

## 「船旅」

旅はいろんな交通機関を使う。

これまで休日を効率的に使うことを  
考えながら移動手段を選んできた。

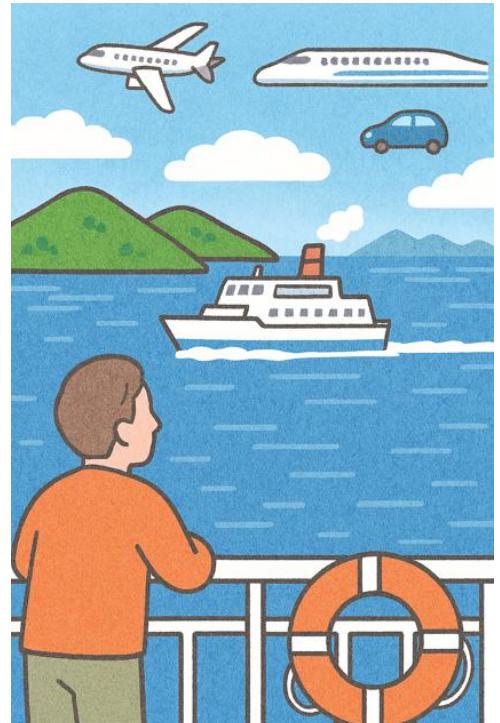
時速 500km の飛行機、  
200km の新幹線、  
60km の乗用車・バス、

そして今は少なくなったが  
船は時速 20km、  
自転車と同じくらいだ。

速度と景色のみえ方は反比例するもので、  
船から見える景色は  
ゆっくりとゆっくりと眺めることができる。

瀬戸内の点在する小島を結ぶ連絡船、  
九州の離島をつなぐ船舶には  
行き交う人の生活と暮らしが浸みこみ、  
安堵感が漂う。

目的地に早く着くことが旅だと  
ずっと思っていたが、  
船旅は移動そのものが旅であることを教えてくれる。  
人生は航路だとはよく言ったものだ。



(春日台・大西 No.15)

[目次へ](#)

## <西神の花>

### 「かりんの実」

西神 5 号線沿いの歩道、ないとう眼科の西側にて撮影。

以前、実を噛んだら、硬くて苦かったこと…！

調べてみると、かりん(花梨)の実は、生食には向かず、ジャムとか  
果実酒向けみたいです(笑)。



(竹の台・島田 No.3)

[目次へ](#)

## <9条街角風景> 「竹の台ふれあい祭り」

あいにくの雨模様でしたが、体育館での西神中学校の吹奏楽部演奏、地元竹の台出身の落語家「桂あおば」さんの落語等ふれあいステージ、そして、恒例のグルメ出店、福引、手作り品販売、竹細工チャレンジ、地域見守りボランティアの活動紹介、注目は、教室での小学生の発表など盛りだくさんの内容でした。



ふれあいステージ(体育館)

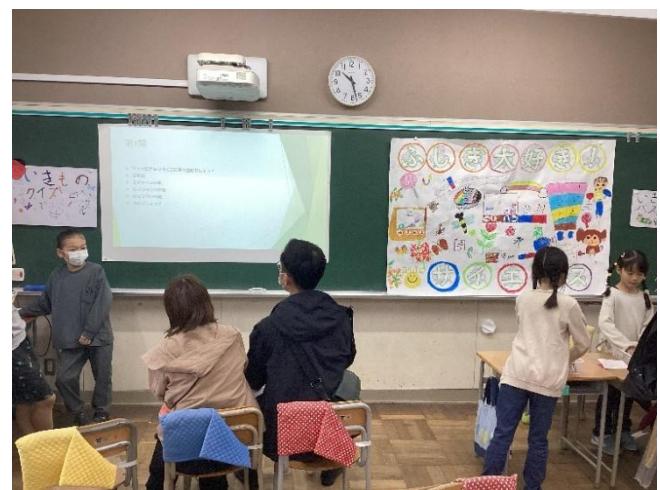


見守り活動の紹介

特に、小学生の発表は、1、2年生の手作りおもちゃランド、3年生のふしぎ大好き Smile サイエンス、4年生のエコナビ、5年生の自然学校報告、そして6年生の地域の一員としての提案など、紙芝居方式やパワーポイントも使って説明してくれる子供達の目の輝きが素晴らしい、年々、充実していることに感動しました。



1、2年生 おもちゃランド



3年生 Smile サイエンス



4年生 リサイクル・ナビ



5年生 火の起こし方



6年生 高齢化問題



6年生 ボランティア



国際交流・海外の学校訪問  
(オーストラリアの小学校)



同窓会

(竹の台・タイガー)  
[目次へ](#)